

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

南Qネットの家

グループの名称

南Qネットグループ

直近採択グループ番号

(グループ代表者)

代表者名

船津 智也

代表者印

代表者所属先

株式会社キューハウ 熊本営業所

代表者所在地

熊本県熊本市東区鹿帰瀬町360-13

代表者電話番号

096-389-3933

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社キューハウ 熊本営業所

事務局担当者名

中野 力

印

事務局郵便番号

861-8011

事務局所在地

熊本県熊本市東区鹿帰瀬町360-13

事務局電話番号

092-631-3772

事務局FAX

092-631-3776

事務局担当者E-mail

r.nakano@kyu-hou.co.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		31	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	31	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		45	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	45	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		21	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	21	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		4	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		18	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	18	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		5	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		6	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	6	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		4	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		24	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	24	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	1棟				
			437㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	経験工務店・未経験工務店それぞれ先着順に戸数配分することとする。 必要に応じ、抽選等の方法を併用する可能性がある。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸	
当初予算	採択床面積	㎡	交付申請床面積	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南Qネットの家	(地域型住宅供給対象地域) 九州全域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 南Qネットグループ	(結成年) 2017年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・毎年台風の被害が多い地域であり、風水害への対策が求められる。 ・地域の大半が6地域7地域に属しており、高温多湿の気候であるため、床下換気等の湿気対策が必要である。 ・湿気を好む白蟻の被害が多発しており、防蟻対策が必要である。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・1階部分の主要な開口部(掃出し窓等)に、シャッター・雨戸等を設置する。またはサッシに十分な耐風性を持たせる。 ・床下の湿気及び白蟻への対策として、ベタ基礎を標準仕様とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・風水害による雨漏り対策として、天井点検口の設置を推奨する。	○
④①～③の背景	・九州南部は年間降水量の多い地域であり、夏季には台風による被害も多いため、年間を通じて雨漏りのリスクが高い地域である。 ・季節を問わず高温多湿となりがちな気候であり、白蟻の被害も多く発生する地域である。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・環境に資する省エネルギーの観点から、HEMSや太陽光発電の導入を検討する。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・床下の湿気及び白蟻への対策として、ベタ基礎を標準仕様とする。	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・木材の仕入れ・供給を一括管理するため、プレカット事業者を集約する。	◎
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: ・施工構成員を通じて地域材の供給量を管理し、事業を円滑に運営する。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: ・屋根を瓦葺きとする場合は、台風対策のため釘打ち等により全数固定とする。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: ・第三者検査機関による防水下地検査を受けるよう推奨する。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない □ ある → 内容:	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: ・対象住宅の工事期間中もしくは竣工時に、エンドユーザーを対象とした現場見学会を開催し、グループ及び事業全体の情報発信の機会とする。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・建築現場にグループ名称や事業名等を掲示する事で、グループとしてのブランディングやエンドユーザーに対する信頼向上に努める。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南Qネットの家	(地域型住宅供給対象地域) 九州全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 南Qネットグループ	(結成年) 2017 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	--	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・第三者機関による住宅履歴情報サービスへ登録し、情報の蓄積保管を行うよう義務付ける。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・実績報告時に、住宅履歴預り証(写し)を提出するよう義務付ける。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・定期点検について引渡し時に時期を定め、定期的を実施する。	○
②-2	補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-3	点検補修実施の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・引渡し時に施主に対し、日常の住まいの管理とメンテナンスが重要である事を説明するよう義務付ける。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施主、構成員からのメールや電話での相談を随時受け付ける。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・定期点検時に、あわせて施主に対し維持管理についての説明を行う。	○
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・相談窓口となり、状況に応じてグループの施工構成員の中から業者選定・手配を行う。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ事務局が相談窓口となり、未経験工務店等へのアドバイス等を行う。	○
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ全体の品質管理のため、構成員からのメールや電話での相談を随時受け付ける。	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・竣工写真等を通じて、事務局にて施工品質の確認を行う。	○
③-1	需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・工務店を通じて大工等職方へも呼び掛けしてもらって、職方の省エネ知識向上を図り、現場での包括的な品質管理が出来るよう取り組む。	○
c		
①	新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南Qネットの家	(地域型住宅供給対象地域) 九州全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 南Qネットグループ	(結成年) 2017年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	<p>・合法木材(九州地域材及びベイマツ材)を主要構造材(土台・柱及び梁桁)と羽柄材(間柱・垂木・筋かい)に使用する。 ・主要構造材(土台・柱及び梁桁)における九州地域材及びベイマツ材の使用割合は、50%を超えるものとする。 ・羽柄材(間柱・垂木・筋かい)における九州地域材及びベイマツ材の使用割合は、原則100%とする。 なお、耐力壁に筋かいを用いない場合はこの限りではない。</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上</p> <p>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</p> <p>・南九州地方は、スギ材の一大生産地となっており、県産材に拘らず広く九州全体における木材自給率の更なる向上が期待できる。 なお、国産スギ材の特性上、大スパン大断面を要する部位において強度に不安があるため、九州地域材に加えてベイマツ材を採用した。</p>
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p>	<p><input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員間で連携し、情報を共有する。</p> <p><input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員間で連携し、情報を共有する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p>	<p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 120 枚</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		◎
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組		○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 <small>(必須)</small>	<small>(地域型住宅の名称)</small> 南Qネットの家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 九州全域
2. グループの名称・結成年月 <small>(必須)</small>	<small>(グループの名称)</small> 南Qネットグループ	<small>(結成年)</small> 2017年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 <small>(必須)</small>	--	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

<高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)の目標数値と設備等仕様について>

【目標数値】

R → 100.1%以上とする。

R0 → 20.1%以上とする。

UA → 0.6以下とする。

また、各地域区分ごとに物件数の半数は外皮性能ランクアップ水準とすることを目指す。

【設備等仕様】

・エコキュート選定時にはJIS効率3.0以上の製品とする

・エコキュート以外の給湯機器についても、節湯効果の高い製品を選定する

・LDKに設置するエアコンについては、高効率エアコンを選定する

・照明器具は全て蛍光灯またはLED仕様とする

・ゼロ・エネルギー住宅の普及を目指し、省エネ技術講習会への積極的な動員を行う。